

# 2018世界トライアスロンシリーズ横浜大会

## エイジ パラトライアスロン 競技説明会



2018. 5. 12  
神奈川県トライアスロン連合

## 説明内容(35分程度)

1. 安全に競技するための提言  
メディカルの立場から
2. スタートまでのながれと留意点
3. コースとルール確認
4. その他お願い

※ヒアリングとヒアリングシート回収は終了後にお受けします※

# 主な競技スタッフ

\* 技術代表 : 小金澤光司 / ITUレベル2

\* 副技術代表 : 海野 浩 / 神奈川(第1種)

SEAチーフ : 志賀 宏行 / 神奈川(第2種)

\* 審判長 : 花井 哲 / 神奈川(第1種)

\* 審議委員 : 大塚真一郎 (JTU)  
渡邊 英夫 (主催者代表)  
小金澤光司 (技術代表)

### 体調面

- 大会当日、健康チェックシートの状況により、問診を受けていただき、問診の結果によっては、「出場辞退」していただく場合があります。
- 体調不良等により競技を続行することに不安があれば、「リタイア」をすることも勇気ある決断です。
- スイムをはじめ、広域な競技コースを使用するトライアスロンでは、常にリスクが待ち構えていると言えます。常にリスクを察知し、適切な判断で競技を行うよう心がけてください。
- 自分のペースを守り、早めの水分および塩分の補給を心がけてください。  
※各エイドステーションには水・スポーツドリンクを用意しています。  
スイム：スイム招集エリア  
バイク：山下ふ頭内（ピットイン方式）  
ラン：コース中4カ所〔スイム招集エリア、山下公園中央広場、山下ふ頭、象の鼻パーク〕  
フィニッシュ：山下公園内（フィニッシュ後）

### 安全面

- 緊急時には、競技中であっても競技を中断する場合があります。
- 危険・妨害行為は禁止です。バイク競技では、無理な追い抜きなどはせず、相手の優先コースを判断し、スムーズで安全な流れを守るようにしてください。

### 競技面

- 各種目における周回数は選手自身が責任を持って管理し、競技してください。周回不足は未完走となります。
- 競技者は第三者（他競技者、コーチ、応援者など）の援助・助力を受けて競技することはできません。  
エイドステーションなど定められた場所でのみ大会関係者からの援助を受ける事が出来ます。
- 応援の方や競技中でない選手は競技コースに侵入することはできません。
- 選手の安全管理のため、競技中のヘッドホン、イヤホン、カメラの使用を禁止します。
- 山下ふ頭内は、レース当日のみコースとして使用許可を得ています。応援・観戦など、レース以外で立ち入ることはできません。  
※コース試走、大会前日等の進入は禁止です。

### 気象状況

- 気象状況等により、競技内容に変更がある場合は、前日の競技説明会または、当日の競技スタート前に、審判員から説明を行います。
- 競技スタート後でも、気象状況の急変により、競技の中止または、変更する場合があります。



5月12日（土） | 大会前日のスケジュール

**バイク預託**  
**15:00~19:30**



・大会前日にバイク預託をする場合は、『トランジション2』であるエイジトランジションエリアに預けてください。  
その後、当日の朝、トランジション1に移動をお願いいたします。当日預託の場合は、直接トランジション1へ預けてください。

**トランジション・バイク預託**

日時	5月12日（土） 15:00-19:30
会場	トランジションエリア（山下公園内）

- 内容**
- 前日にトランジションエリアにバイク、及びヘルメットをセットしておくことを推奨します。当日の行動時間に余裕ができ、レースに集中できます。
  - 整備不良、ルールに準じていないバイクでの出走はできません。
  - トランジションエリア入口で審判員のチェックを受け、それぞれのレースナンバーが表示されたラックにバイクやヘルメットをセットします。
  - 一度預託したバイクは、レース終了後までトランジションエリアから出す事はできません。なお、ランニングシューズの設置やタイヤの空気圧のチェック、ドリンク（サイクルボトル）のセットなどは、レース当日の朝6時00分からです。【リストバンド提示必須】
  - トランジションエリアは夜間も含め警備員による警備を行っていますが、必ずカギ等ご用意ください。

## コースマップ/エイジパラトライアスロン



- ・エイジパラトライアスロンでは、トランジションエリアが2つあります。  
『トランジション1(スイム→バイク)』は、ポンツーンから氷川丸に行く途中の海沿いです。  
(エリートパラトライアスロンのトランジション1と同様。)  
『トランジション2(バイク→ラン)』は、エイジトランジションエリア内の山下ふ頭寄りです。



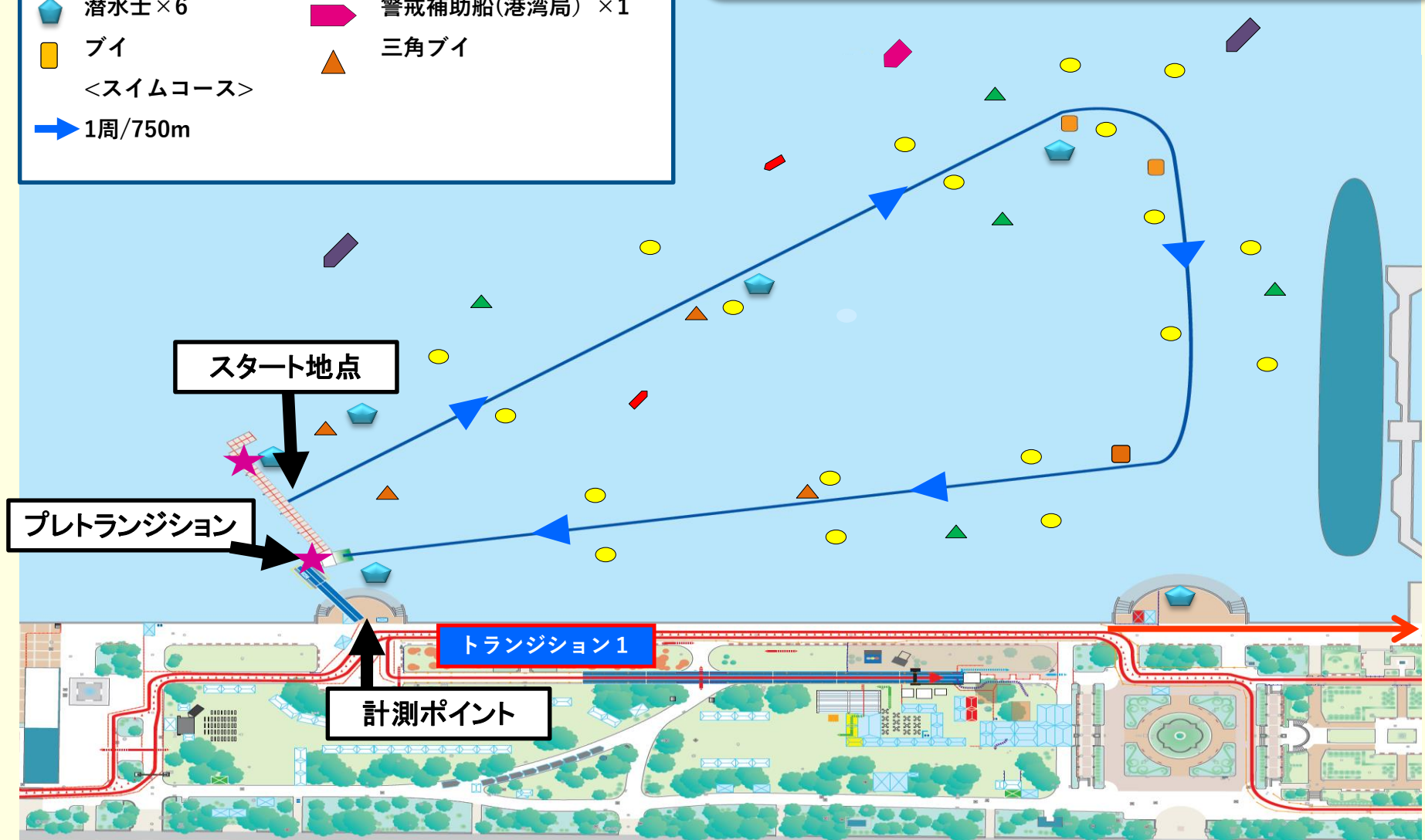
# スイムコースマップ

エイジパラ: 750m × 1周回

## 凡 例

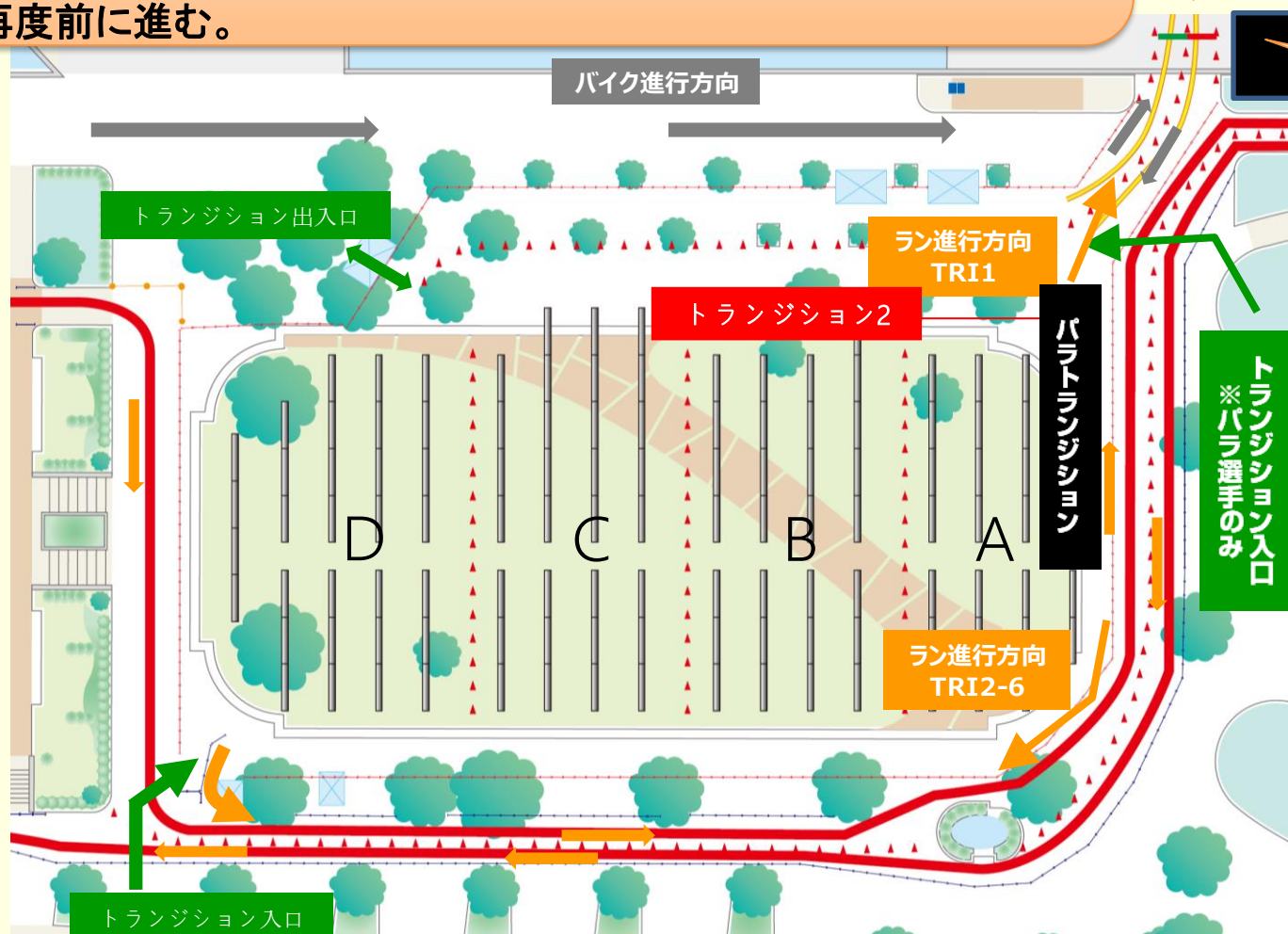
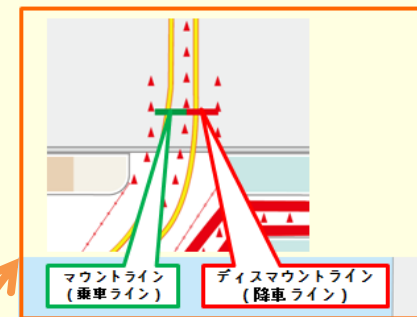
- ライフセーバー × 19
- ▲ 水上バイク × 5
- ▶ 救助艇 (IRB) × 2
- ▶ 警戒船 × 3
- ◆ 潜水士 × 6
- ▶ 警戒補助船(港湾局) × 1
- ブイ
- ▲ 三角ブイ
- <スイムコース>
- ➡ 1周/750m

・25分を目安とし、その時点でまだスイムフィニッシュしていない選手いる場合、その選手がしっかりと泳いでいて、安全性に問題がない場合、40分までスイム続行可能とする



## トランジション2エリア

- ・トランジション2で、TRI1 & TRI6は山下ふ頭内、TRI2～TRI5はトランジション2内となる。
- ・トランジションエリアで、TRI1選手は、ハンドサイクルに乗ってきて、マウントライン前で完全に止まり、審判の”GO”を聞き、再度前に進む。デismountラインでは、ライン前で完全に止まり、審判の”GO”を聞き、再度前に進む。



パラ  
トランジション  
TRI1 & TRI6



## レースのための注意事項

### スイムキャップ



- スイムキャップを重ねてかぶることは可能ですが、必ず大会で支給したスイムキャップを一番上にかぶるようにしてください。

### スイムゴーグル

- 今大会はオープンウォータースイムです。

・本大会のエイジパラでは、TRI6において、安全性を考慮し、ブラックアウトグラスを必須とはしません。


### ウェットスーツ




- 本大会は、ウェットスーツ着用を必須としています。
- トライアスロン用、またはスイム用のウェットスーツ（厚み5mm以下）を必ず着用するようにしてください。
- スイムスーツの使用はできません。
- ウェットスーツのゴム生地製ヘッドキャップの着用を認めます。ただし、大会支給のスイムキャップを一番上にかぶるようにしてください。
- 大会側でワセリン等の用意はありません。

・当日、ポンツーン近くの『トランジション1』にバイクセット時に、審判員によるバイク等の機材チェックがあります。

## バイク

- トライアスロン専用バイク、またはロードレーサーのみ出場可。(JTU競技規則に準ずる。)
  - エアロバーの装着、後輪のディスクホイールの使用は可能です。(JTU競技規則に準ずる。)
  - 固定ギア(ピスト)バイクでの出場はできません。また、前後輪にブレーキの装着がないバイクでの出場はできません。
  - 大会当日はトランジションエリア協にてメカニックサービスを実施致しますが、簡易な整備のみの対応となります。  
〔(バイクメカニックサービス有料:1回1,000円) 詳細P.27参照〕事前に専門ショップなどで点検・整備される事を推奨します。
- 
- バイク預託、バイクチェックイン時には、ヘルメットチェックを実施します。
  - JTU競技規則に準じたバイク競技用ヘルメットのみ使用可。エアロタイプのヘルメットも使用可能です。
  - ヘルメットのストラップに緩みの無いよう、また、レースナンバーシールを、ヘルメットの前面および左右両面、バイクの両側からレースナンバーが確認できるようバイクフレームもしくは、シートピラーに貼りつけます。(イメージ図P.10参照)
  - サイクルコンピューターの装着を推奨します。
  - 本大会は周回コースです。計測チップによる機械計測を行いますが、リアルタイムでそれぞれの選手にお伝えする事はできません。周回数各自で把握してください。(周回不足は未完走となりますのでご注意ください。)


## レースナンバー

- 
- バイク競技時には後ろから、ラン競技時には前からレースナンバーが見えるようにしてください。
  - 競技の安全管理上、安全ピンの配布は致しません。レースナンバーベルトの使用を推奨します。
  - レースナンバーの裏面には必ず事前に緊急時の連絡先を記入してください。(家族など本人以外の連絡先)

## バイクシューズ、ランニングシューズ

- 
- シューズを履かずに裸足のままバイク、ラン競技を行うことは禁止です。

## レースウェア

- 
- JTU競技規則により、前面部にファスナーの付いたウェアの着用は禁止です。
  - 上半身裸になったり、ウェアを片掛けにして競技を行うことは禁止です。

**当日選手受付【必須】 健康チェックシートの提出・スイムキャップの受け取り**

※出場ウェーブによって、時間が異なります。下記参照

会場	トランジションエリア横、山下公園石のステージ前テント
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レースに出場する選手（リレーも含め）は、全員「健康チェックシート」を記入・提出していただきます。</li> <li>● 「健康チェックシート」と引き換えに、ウェーブ毎のスイムキャップを受け取り、このスイムキャップを着用してレースに出場してください。</li> <li>● 当日体調のすぐれない方、不安のある方は、医師による問診を受けるようにしてください。</li> </ul>


受付時間	スタートウェーブ	グループ
06:00 - 06:15	TRI	TRI
06:00 - 06:50	第1ウェーブ 第2ウェーブ	A
07:00 - 07:50		B
08:00 - 08:50		C
09:00 - 09:50		D
リストバンド スイムキャップの色	ウェーブ (エイジ (ハイトリプルスロン))	ウェーブ (エイジ (一般・リレー))
レッド	TRI1	2、14
ブルー		3、12
ホワイト	GUIDE	7、10
オレンジ		4、13
イエロー	TRI2、TRI3、TRI4、TRI5	1
	TRI6	6、8

**選手受付  
6:00~6:15**



**ウェーブごとに時間が異なります**

## 6:00 – バイクチェックイン、トランジション、バイクピックアップ



日時	5月14日（日） 6:00 – ※バイクセッティングとバイクピックアップの時間は各カテゴリーごとに異なります	
会場	トランジションエリア	
注意事項	<p><b>バイクチェックイン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トランジションエリアのオープンは6時00分です。大会当日は競技中を除き、<b>次ページの時間帯のみ</b>トランジションエリアへお越しください。</li> <li>● ボディマークの貼付</li> <li>● トランジションエリアの整理</li> </ul> <p><b>トランジション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 競技に臨むための準備</li> <li>● トランジションエリアの整理</li> <li>● バイクラックの整理</li> <li>● バイクラックの整理</li> <li>● ウェットスーツの乾燥</li> </ul> <p><b>バイクピックアップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バイクピックアップの準備</li> </ul>	<p>トランジションエリアへお越しください。</p> <p>バイクラックに直接かけ</p> <p>トバンドを照合します。</p>
		

ウェーブ	バイクセッティング時間	バイクピックアップ時間
エイジパラ (TRI)	6:00 – 6:30	12:50 – 15:00
グループA (1 – 3)	6:00 – 7:15	12:50 – 15:00
グループB (4 – 6)	6:00 – 8:15	12:50 – 15:00
グループC (7 – 9)	6:00 – 9:15	12:50 – 15:00
グループD (10 – 14)	6:00 – 10:15	12:50 – 15:00

・ポンツーン近くの『トランジション1』では、エリート同様のバイクラックを使用します。



**スイムチェックイン【必須】 ※出場ウェーブによって、時間が異なります。下記参照**

日時	5月14日（日） 下記のとおり
会場	スイム会場付近
注意事項	<p style="text-align: center;"></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スイムチェックイン・<b>計測チップ<sup>o</sup>（アンクルバンド）の配布</b>を行います </li> <li>● <b>一度スイムチェックインエリアに入るとスタートまで出ることはできません。</b></li> </ul> <p>全ての準備を終えてからスイムチェックインエリアにお集まりください。 スイムチェックインエリアには、仮設トイレ及び更衣室が設けられます。</p>

**計測チップはフィニッシュまで装着！**

グループ	スタートウェーブ	スイムチェックイン時間
TRI	TRI	06:45 – 07:00
A	第1ウェーブ – 第3ウェーブ	07:20 – 07:35
B	第4ウェーブ – 第6ウェーブ	08:20 – 08:35
C	第7ウェーブ – 第9ウェーブ	09:20 – 09:35
D	第10ウェーブ – 第14ウェーブ	10:20 – 10:35

**7:00 – スタートセレモニー**

スイムチェックインエリアにて、スタートセレモニーを実施します。

競技スタート ※出場ウェーブによって、時間が異なります。下記参照

カテゴリー	グループ	時間	ウェーブ	カテゴリー	スイムキャップ	レースナンバー
エイジバラ	TRI	7:15	TRI	TRI-1	レッド	11-12
				TRI-2	イエロー	21-22
				TRI-3		31-33
				TRI-4		41-43
				TRI-5		51-52
				TRI-6	グリーン	61-67
				GUIDE	ホワイト	GUIDE
				ハンドラー		HANDLER
	A	8:00	1	M19-24 M20-24 M25-29 M30-34	イエロー	1001-1160

# 時間厳守！

7時00分にエイジパラトライアスロンのスタートセレモニーがあります。ご参加ください。

7時15分にパラの部がスタートします。

今回は2ウェーブでのスタートです。

7:15: TRI1、TRI6

7:20: TRI2~5

\* ASTCパラキャンプメンバーも参加します  
(4名)

 **ウェーブごとに時間が異なります**

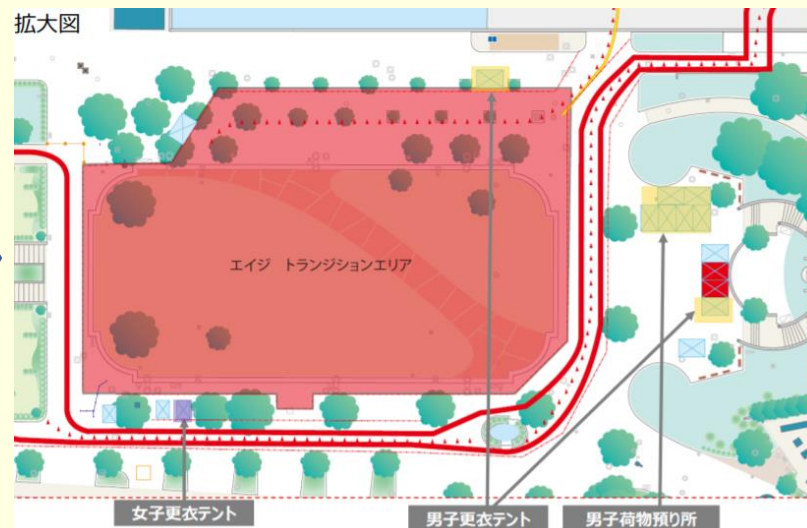
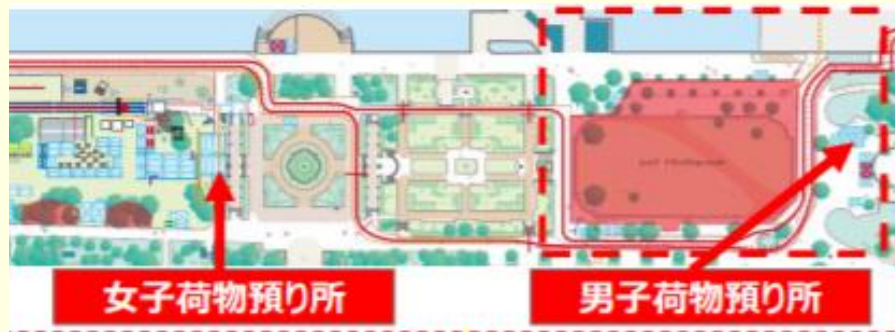
・荷物預り所は、6:00より担当者が配置される予定です。

### 6:30-15:00 更衣テント

日時	5月13日（日） 6:30-15:00
会場	トランジションエリア付近 ※女性は、フィニッシュ付近に別途有り
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●着替えの際は更衣テント（男女別）をご利用ください。</li> <li>●レース中（前後も含め）は体幹部分の素肌を露出することはコース内、会場内のいずれでも禁止されています。</li> <li>●トランジションエリア内に男女更衣テントを設置します。レース中（前後も利用可）こちらの更衣テントをご利用ください。</li> <li>●荷物などは、必ず荷物預り所へ預けてください。 ※貴重品は各自で管理をお願いいたします。</li> </ul>

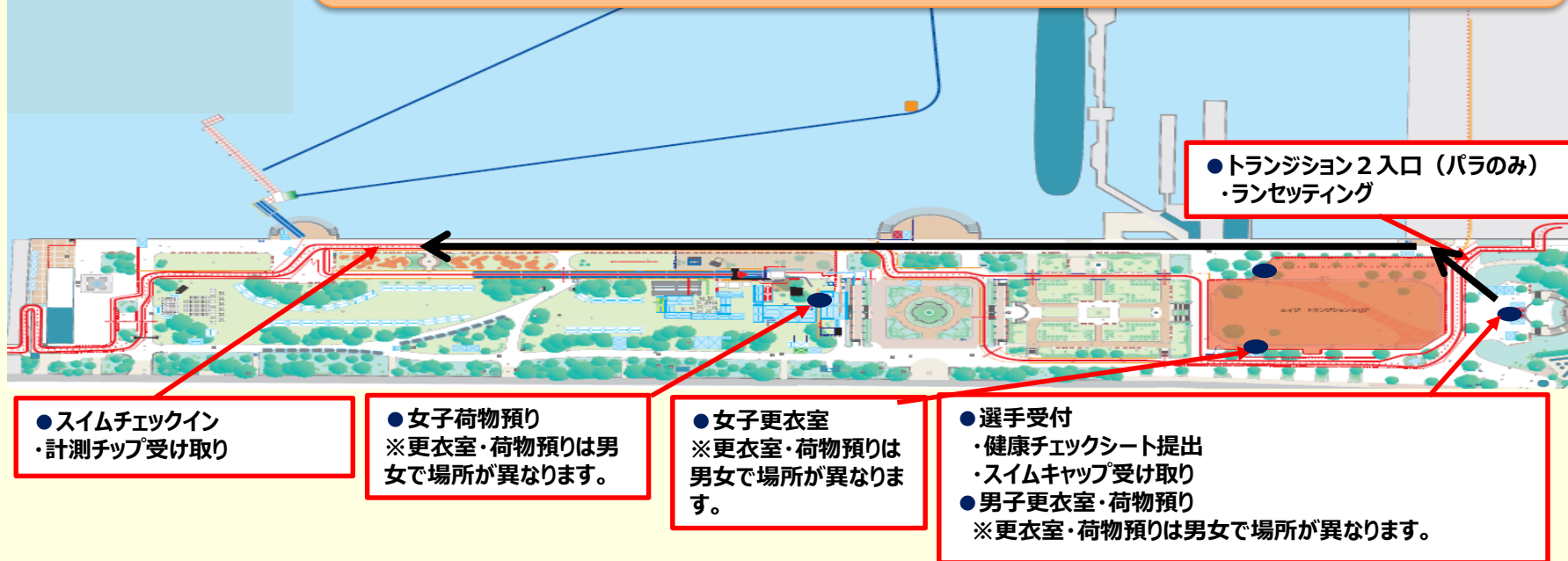
### 6:30-15:00 荷物預り所

日時	5月13日（日） 6:30-15:00
会場	男性：トランジションエリア付近 女性：フィニッシュ付近
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●荷物預け用ビニール袋に、レースナンバーが明記されているシールを貼った事を確認し、預けてください。</li> <li>●荷物返却の際はリストバンドの提示をお願いします。（貴重品はお預かりできません）</li> </ul>



## 選手受付からスイム会場までの動線

- ・健康チェックシートは、GUIDE及びハンドラーも必ず提出してください。
- ・ハンドラーは、レース当日、配布されたTシャツを必ず着用してください。【色指定あり】



● スイムチェックイン  
・計測チップ受け取り

● 女子荷物預り  
※更衣室・荷物預りは男女で場所が異なります。

● 女子更衣室  
※更衣室・荷物預りは男女で場所が異なります。

● 選手受付  
・健康チェックシート提出  
・スイムキャップ受け取り  
● 男子更衣室・荷物預り  
※更衣室・荷物預りは男女で場所が異なります。

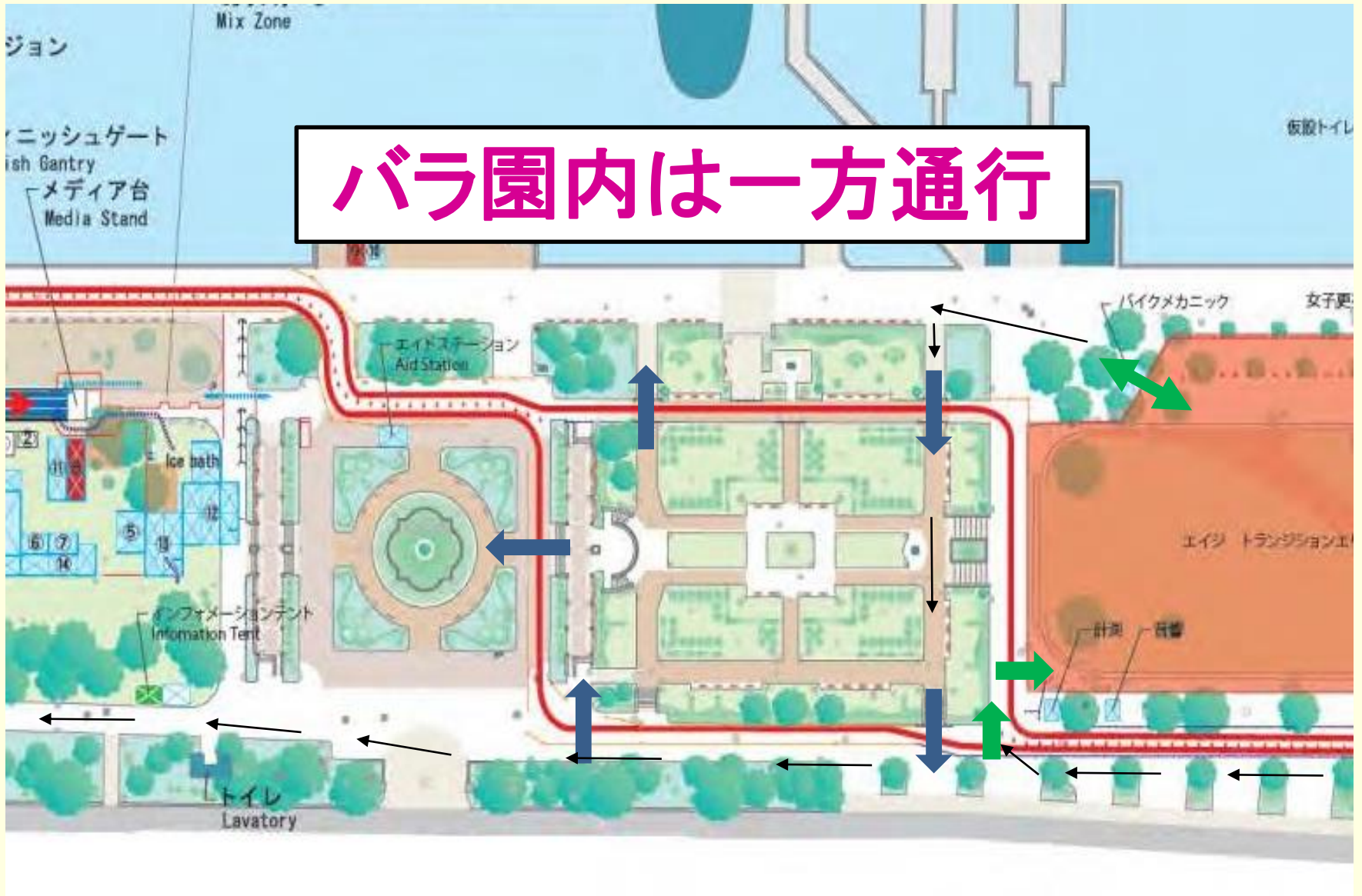
● トランジション2入口 (パラのみ)  
・ランセッティング

・当日選手受付テントからスイムチェックイン・スタート場所まで、距離が離れているため（約700m程度）、下記の流れを推奨します。

- ① 『トランジション2』エリア横で選手受付（健康チェックシート提出）※山下公園内石のステージ前テント
- ② エイジトランジション内の『トランジション2』でランのセッティング。  
パラ参加者のみ、海側を通行し、トランジション1・2へ行くことが可能。
- ③ 更衣テント利用、荷物預り（必要に応じて）※男女で場所が異なります。
- ④ ポンツーン近くの『トランジション1』にバイクセット（審判員によるバイク等の機材チェック）
- ⑤ ポンツーン上のプレトランジションエリアセット
- ⑥ スイムチェックイン



# バラ園内は一方通行



## スイム

ポンツーンより入水し、フローティングスタートで行い、ホーンの合図によりウェーブ毎にスタートします。

※フローティングに不安のある方はポンツーンにつかまって待機しても構いません。パラは750mコースを1周回、いずれも時計回りです。

- **制限時間以内にスイム競技を終えることができなかった場合、次の競技に進むことはできません。**（下記、「スイムカットオフについて」参照）
- **スイム制限時間内であっても**審判員やライフセーバーなどのスタッフが、危険もしくは競技続行が困難と判断した場合、競技中断もしくは競技中止（リタイア）を勧告します。

その場合は必ず指示に従ってください。

- ・エイジが行うポンツーン後ろでの試泳はありません。スタートのために、ポンツーンより入水し、周りを泳ぐ等 試泳をした後、そのままフローティングスタートとなります。
- ・25分を目安とし、その時点でまだスイムフィニッシュしていない選手いる場合、その選手がしっかり泳いでいて、安全性に問題がない場合、40分までスイム続行可能とする

### スイムの安全対策

- 本大会にはスイム会場を含め多くのライフセーバー、潜水土、医師、看護師、救急救命士、審判員ほか、スタッフが配置され、水上、陸上から選手の皆様を見守っています。



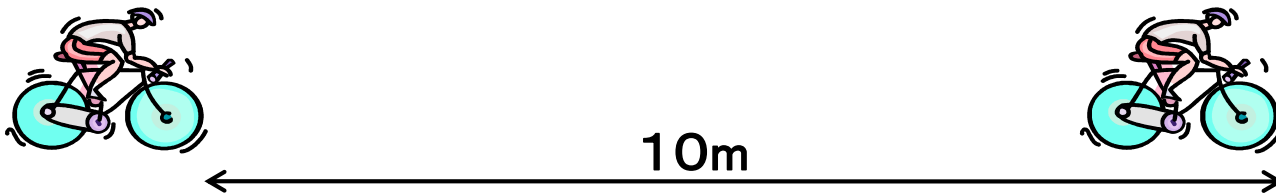
**救助が必要となった際は、頭の上で手を振り合図**してください。救助艇、水上バイク、レスキューボードのいずれかが救助にあたります。

- 周回時、スイムフィニッシュ時にポンツーン上で、審判員他スタッフが体調確認の為に声をかける事があります。
- 体調の悪い時は決して無理をせず、リタイアする勇気を持つ事も必要です。

## バイク

### ・ドラフティング禁止

ドラフトゾーン：前輪先端より後方 10m



### ・キープレフト（追い越し以外は道路の左側を走行）

#### ※違反した場合※

- レースナンバーをペナルティボックスに掲示
- 該当の選手はラン競技中にペナルティボックスへ自主的に入る  
スプリント：1分間
- ペナルティボックスに入らずにフィニッシュした場合は失格(DSQ)

- ・ 12 : 25以降、山下ふ頭内分岐ポイント進入不可
- ・ エイドステーションでの給水は一時停止（ピットイン）
- ・ 競技中の落とし物は拾わず、競技終了後「インフォメーションテント」へ
- ・ やむを得ず停車する場合は、後方確認し左端に停車



バイクスタート時⇒ラックからはずす前にヘルメットを被る。  
バイクフィニッシュ時⇒ラックに掛けてからヘルメットを脱ぐ。  
ストラップはゆるみなく！！



## ラン

コースは常に**左側通行**です。

<b>TRI 1</b>	<b>バイクコース使用</b> 5 Km×1周回 トランジション⇒山下ふ頭折返し（1回目）⇒象の鼻パーク折返し（1回目） ⇒山下ふ頭折返し（2回目）⇒フィニッシュ
<b>TRI 2～6</b>	4 Km×1.25周回 トランジション⇒山下ふ頭折返し（1回目）⇒象の鼻パーク折返し（1回目） ⇒山下ふ頭折返し（2回目）⇒フィニッシュ

中央広場エイドステーション、山下ふ頭内ラン折り返し地点の2箇所にランシャワーがあります。

### ※禁止事項

ヘッドホン、イヤホンを装着して競技を行うことは、審判員やスタッフ等からの指示が聞こえず、事故につながります。

ヘルメット、ヘルメットストラップを装着して競技を行うことは、落下による事故につながります。共に装着を禁止いたします。

## フィニッシュ

### 同伴フィニッシュ、意図的な同着は認めません。

（リレーチームについてもランパート以外の選手の同伴フィニッシュは認めません）

フィニッシュ時はサングラス、キャップは外すようにしましょう。

レース終了後、計測チップ（アンクルバンド）を回収します。またフィニッシャータオル、水・スポーツドリンクなどをお受け取りください。

項目	カテゴリー	制限時間
フィニッシュ制限時間	スタンダード（ラン4km×2.5周回）	スタート後3時間45分（225分）
	スプリント（ラン4km×1.25周回）	スタート後2時間00分（120分）

**フィニッシュ後に計測チップ（アンクルバンド）を回収**

## エイドステーション

スイム	スイムアップ後
バイク	1箇所山下ふ頭内ピットイン方式
ラン	コース中4ヶ所(スイム召集エリア前、山下公園中央広場、山下ふ頭、象の鼻パーク)
フィニッシュ	フィニッシュ後、山下公園内
備考	各エイドには水とスポーツドリンクを用意しています



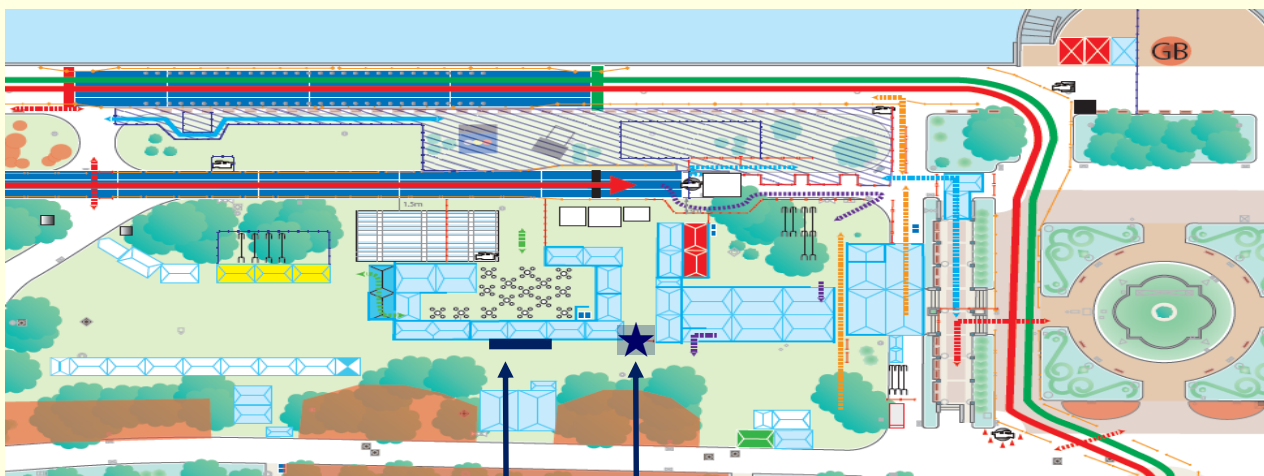
### 表彰式

日時	日曜日 14:00 – ※召集時間 13:45
会場	フィニッシュエリア隣、表彰ステージ ※召集場所 山下公園内テント（下図、参照）
召集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リザルト【暫定版】を確認のうえ、表彰対象者は、下記へ集合してください。【召集時間13:45】</li> <li>●リザルトは暫定版です。全競技終了後、順位が入れ替わる場合があります。</li> <li>●集合時間は厳守です。</li> </ul>
注意事項	スタンダードは5歳刻み、スプリントは10歳刻み、エイジパラ、リレーは各カテゴリー3位までの表彰を行います。

### リザルト

日時	日曜日 13:30頃（予定）
場所	大会運営本部前
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●記録速報は大会運営本部前掲示板に貼り出します。表彰対象者は、14:00～の表彰式にご参加ください。</li> <li>●記録速報は暫定版です。全競技終了後、順位が入れ替わる可能性があります。</li> <li>●大会当日の記録・完走証の配布はありません。大会公式記録及び完走証は、後日大会HPよりダウンロードしていただけます。</li> </ul>

**バイクピックアップは、12:50～15:00ですので、よろしくお願いします**



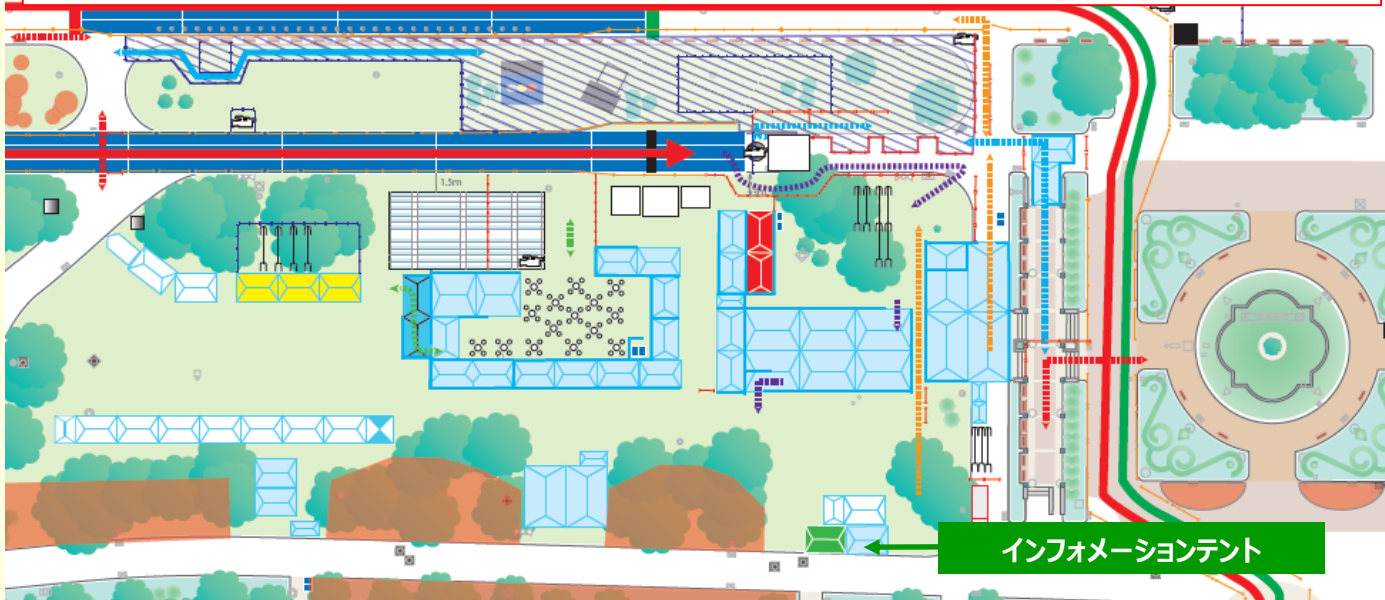
13:30頃（予定）  
●リザルト掲出場所

13:45  
★表彰対象者召集

日 時	日曜日
内 容	<p><b>貴重品預り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 貴重品を預かる場所はありません。ご自身で管理をお願いします。</li> <li>● 荷物預りについては、P.20、P.22を参照してください。</li> <li>● トランジションエリア内には、競技備品以外の荷物を置くことはできません。</li> </ul> <p><b>落とし物・忘れ物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 落とし物及び忘れ物は、山下公園内「インフォメーションテント」(下図、参照)でお預かりいたします。</li> <li>● 大会終了後は、下記までお問合せください。</li> </ul> <p>※落とし物・忘れ物の保管期間は、大会当日より3か月間となります。なお、貴重品については、速やかに警察に引き渡します。</p>

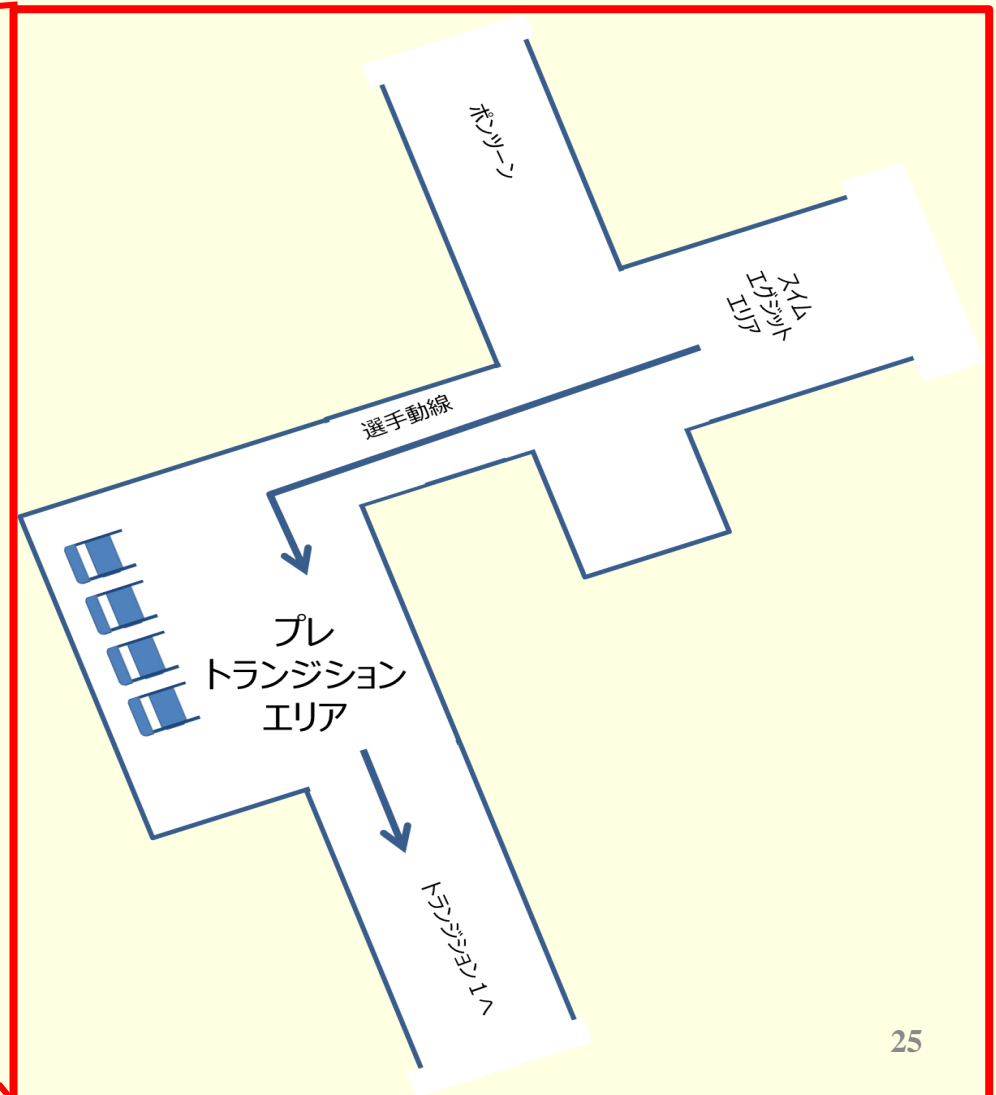
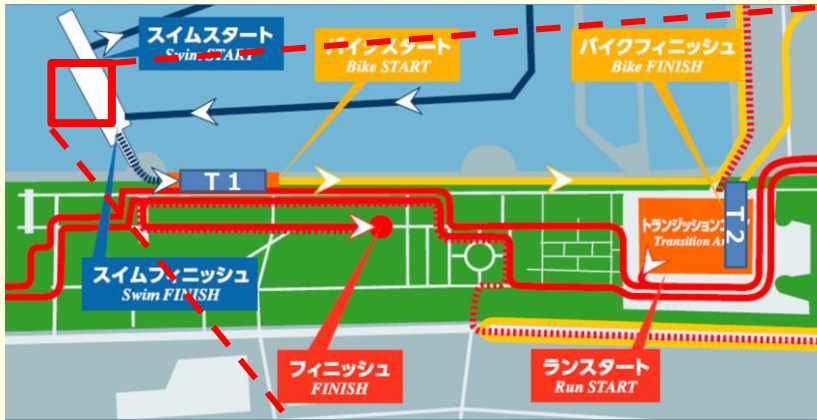
**落とし物・忘れ物に関する問合せ先**

**世界トライアスロンシリーズ横浜大会事務局 (平日9時00分～17時00分 土日祝を除く)**  
**TEL : 045-680-5538 / Eメール : info@yokohamatriathlon.jp**





プレランジションエリア (ウェットスーツ脱衣場所。TRI1車椅子、TRI2、3、4、5の義肢や杖等セット)  
(TRI 1~5が対象) \* 椅子は、自分のナンバーの下一桁の椅子をご利用ください



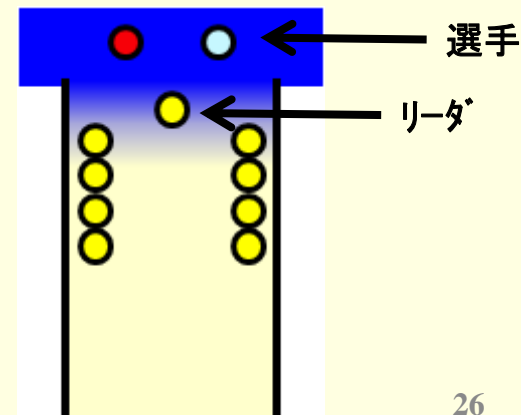
## プレランジションエリア

TRI 6選手は利用不可  
TRI 6 athletes is not allowed to use

## 介助者の種類と役割①

### スイムエクジットアシスタント(SEA)

- 選手が海から上陸する所からプレランジションエリア(ウェットスーツ脱衣所)までの移動を介助
- 対象選手はTRI1～5。(TRI6は個別ガイドが対応)
- チーフがスイム出口(水中)に立ち、2人ひと組のエクジットハンドラーが待機しています



## 介助者の種類と役割②

### ハンドラー

#### (1) 自己手配の場合

プレランジッションエリア内、ランジッションエリアへの移動およびランジッションエリア内でのサポートを個別に実施して下さい。

#### (2) 大会側手配の場合

スイムエリアとランジッションエリアで**必要な場合のみ、可能な範囲で、実施させていただきます。**

- ①義肢や他の補助具に関する支援、
- ②ハンドサイクルや車椅子への乗降の支援、
- ③ウェットスーツや衣類の脱衣、
- ④バイクをラックにかける、
- ⑤ランジッションやホイールステーションでの自転車の修理

\*プレランジッション～T1の間の坂にはご注意ください。(必要に応じて声かけいただければ、可能な範囲でサポートします。)

## 介助者の種類と役割③

### ガイド

- TRI6の選手個人毎に割り当てられた同性の伴走者(各1名)です。
- スイムからフィニッシュまで選手と一緒に競技を行います
- 選手とガイドは、スイム中は1.5m、ランでは0.5m以上離れてはいけません。スイムでは長さ80cmの紐で選手とつながります。

(スイムでは腰か脚、ランでは手首)

- 選手を押ししたり引いたりしてはいけません
- 役割は下記の通りです

#### ①トランジションエリア内での介助

- ・チェックイン時 : 自転車の運搬&ラックへの脱着、ウェット装着
- ・スイム→バイク : シューズ、ヘルメット等の装着  
乗車ラインまでのバイクサポート等
- ・バイク→ラン : 降車ラインでのバイクサポート等  
シューズ交換等の介助

#### ②トランジションエリア外での介助

- ・バイクメカトラブル対応、タイヤ交換等

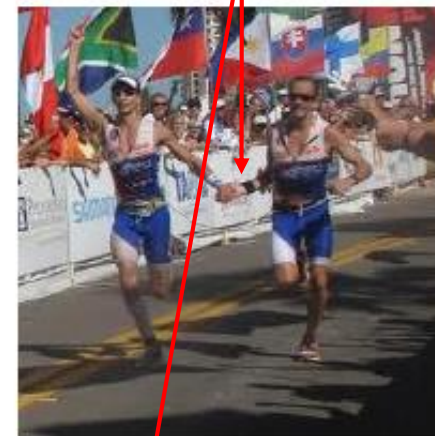


TRI 6

スイムの時は  
紐で結ぶ

バイクは二人乗り  
(前がガイド、後ろが選手)

ランの時も  
紐で結ぶ



## その他

- T1では、用意されているカゴにウェットスーツ等を入れて下さい。→ SEAがフィニッシュまでに、カゴの中のウェットスーツ等は、リカバリーエリアまで運びます。TRI1の方の移動用車いすは、フィニッシュまで運びます。
- プレトランジションからT1までに利用した義肢を、T2以降でのランでも使用される方は、T1からT2へ義肢を運びますので、必要な場合は個別ヒアリングでお教えてください

適用ルールに関しては、ITU 2017/12版を、クラス分け以外は用いることにしたいと考えます。

[http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/ITUsportcompetitionrules2018\\_JTU.pdf](http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/ITUsportcompetitionrules2018_JTU.pdf)

なお選手から見た場合の2013年版との主な違いは、2016/12ルールでは

- 1) TRI6選手以外は、プレランジションエリアでウェットスーツを脱いでも良い。
- 2) TR1選手は、マウントライン、デスマウントラインで、一旦停止し、審判の”GO”の声で、再度前に進む
- 3) TRI6選手は、離れて良いのは スイム1.5m、その他は0.5m。スイムのテザー(紐)は80cm
- 4) TRI6 B1 選手の、ブラックアウト ゴーグルの着用必須の4点かと思えます。

⇒ 4)に関しては安全面より、ブラックアウトゴーグルを必須とはしません。その他1～3は適用します。



【突発事案発生時における避難誘導場所】

※近隣施設へ一時避難

1. メルパルクヨコハマ    2. 横浜マリントワー    3. スターホテル横浜    4. ホテルニューグランド    5. ホテルモントレ横浜  
6. 産業貿易センター    7. シルクセンター    8. ワールドポーターズ

※帰宅困難者の一時避難場所

横浜公園

※帰宅困難者の一時滞在施設

国立横浜国際平和会議場



# 選手の皆様へのメッセージ

**ルールとマナーを守って  
笑顔でフィニッシュ！！**

**事故なくひとりでも多く完走を！！**

この後 下記を実施します。

1. 全体の質問（及び 過去の出場経験からのアドバイス共有）
2. 記入いただいたヒアリングシートをもとに、個別ヒアリング